

平成25年度 新潟大学歯学部同窓会学術セミナーのご案内

1 (歯科)医療における感染対策の基本とCQ 2 歯を知り、材料を知り、明日から活かすProvisional Restoration

平成25年度同窓会学術企画第2弾の募集案内をさせていただきます。

今回はそれぞれの分野でご活躍されている2名の講師による講演を企画いたしました。「(歯科)医療における感染対策の基本とCQ」は本学顎顔面口腔外科学分野教授で医歯学総合病院(歯科系)の感染管理委員長の高木律男先生、「歯を知り、材料を知り、明日から活かすProvisional Restoration」は歯科総合診療部助教の奥村暢旦先生に講師をお願いいたしました。高木先生の講演は事前に質問をお受けいたしますので奮って質問を送っていただければ幸いです。歯科医師、歯科衛生士の方の積極的ご参加をお願いいたします。

また、本年度の第3弾のセミナーにつきましてもそれぞれの分野で活躍されている2名の講師による講演を2本立てで予定しております。こちらにつきましても、ご検討くださいますようお願いいたします。尚、3弾のセミナーにつきましては次回の同窓会定期通信で詳細のご案内および募集となります。ご了承下さい。

日 程 平成25年10月20日(日) 9:30~12:30(終了予定)

形 式 講義

会 場 新潟大学歯学部第三講義室

定 員 50名

参 加 費 4,000円(テキスト代を含む)

申し込み方法 4ページに記載

振り込み先 受講申し込み受付票に指定の口座

締め切り 平成25年10月4日(金)

問い合わせ先 同窓会学術(gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp)

※当日の申し込みはできませんのでご注意ください。

※申し込みが定員に達した場合は同窓会学術のホームページにてお知らせいたします。

※自家用車の駐車は医歯学総合病院の駐車場をご利用下さい。

※キャンセルの場合、基本的に受講料の返金はありません。ただし、代理出席は可能です。受講者が変更になる場合には事前にご連絡ください。

主催：新潟大学歯科歯学部同窓会

1 (歯科) 医療における感染対策の基本とCQ

感染対策は、目に見えない敵（感染性微生物）に対して、「どうすれば感染から逃れられるかを目に見える形で対応する」という儀式的なところがあります。その儀式がちゃんとできているかどうかを、どのように評価するか、なぜ必要なのか、などについて歯科医院開設者である歯科医師は理解している必要があります。何年か大学において感染対策についての教育をしていて、大学病院における実際の対応を見ると、私は何を教えているのだろうと心苦しくなることもあります。

一方、高齢者and/or有病者の増加、周術期口腔管理、訪問診療、老健施設での口腔衛生、等々歯科医療関係者が医科の先生や看護師さん、施設職員の皆さんとともに同じ患者さんを管理しなければならない状況が増えている中、歯科関係者だけが特別な感染対策をとっているわけにはいきません。感染対策は何も難しいことをしているわけではなく、少し考え方を変えるだけでも、少し理解が深まるだけでも、日常診療の中での基本的事項として継続できることと思います。

ポイントは二つです。医療環境の整備とスタンダードプレコーションの考え方での交差感染対策です。当たり前すぎて講義を聞く必要はないと思うかもしれませんが、これまでと違った切り口でお話しします。平成19年の医療法改正により、医療関係者は医療安全、感染対策に関する講習会を年に2度は受けなければなりません。その一つとして、是非最近の感染対策を確認するために参加いただければ幸いです。

通常の講演では講義の後に質疑応答の時間を取りますが、今回は講義時間を短くし、日常臨床の中で、これで良いの？と感じている感染対策上の疑問点Clinical Question (CQ) を下記の書式でお知らせいただくと、みんなで考える形で解決できればと思っています。質問は事前送付でも、当日でも受け付けます。

質問書式は下記でお願いします。

質問内容 (CQ) :

お名前 :

お名前の公表： 一任 ・ 希望せず (どちらかを消してください)

宛先：takagi@dent.niigata-u.ac.jp

2 歯を知り、材料を知り、明日から活かす Provisional Restoration

日常臨床の中でTecを製作・使用する頻度は、臨床経験に関わらずどの先生も高いことと思います。それでは私達が普段製作しているのはあくまでTecであって、Provisional Restorationではないのでしょうか。同じ材料で同じ術者が製作しても、臨床的な意図をもって取り組むことで得られる情報量は全く異なります。特別な製法や材料を用いなくても、昨日までのTecが明日からはProvisional Restorationとして機能するとしたら、毎日の臨床がさらに充実したものになるのではないのでしょうか。なにより今後長く続く歯科医師人生の中で、何百回と経験する作業が意義とやりがいのあるものになるとしたら、これほど大きな収穫はないと思います。

Tec製作時に正確に解剖学的形態を再現することは普段あまり重要視されていないかもしれませんが、本セミナーでは最も修復頻度が高いと予想される第一大臼歯を中心に、科学的な背景に基づいてその必要性に迫っていきます。また、材料としてのレジンの特性を掴むことで、チェアーサイドで素早くより確実な形態再現性が実現可能なことを、御参加いただいた皆さんと一緒に確認し、若手の先生には明日からこの先長く続く臨床の中で得意な武器の1つとなるように、また現役復帰を果たす先生には休養前よりさらに充実した臨床を実践していただくために、このセミナーの内容が少しでもお役に立てれば幸いです。

講 師：

新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野 教授 高木 律男

新潟大学医歯学総合研究科 歯科総合診療 助教 奥村 暢旦

タイムスケジュール：

9:00 受付開始

9:30～10:50 (歯科) 医療における感染対策の基本とCQ 高木 律男

10:50～11:00 休憩

11:00～12:30 歯を知り、材料を知り、明日から活かすProvisional Restoration 奥村 暢旦

申し込み方法

- * セミナー申し込み方法はメール（携帯メール可）での受付のみとなります。FAXによる受付は行いません。お間違いの無いようご注意ください。
- * メールの到着順に、定員内の方には「申し込み確認票」をメールにてご連絡致します。申し込み確認票に参加費の振込先及び入金期日を記載致します。入金期日までに参加費をご入金ください。期日までに入金がない場合にはキャンセルとして扱わせていただきます。
- * 定員外となった方は、自動的にキャンセル待ちとさせていただきます。定員外の場合にも、「キャンセル待ちのお知らせ」をメールにてご連絡致します。
- * 「申し込み確認票」もしくは「キャンセル待ちのお知らせ」がメール送信1週間後にも届かない場合には、何らかの問題でメールが届かないトラブルが考えられます。再度お申し込みいただきますようお願い致します。

以下の必要事項を同窓会学術アドレス（gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp）にメールにてご連絡ください。メールのタイトルは「同窓会学術セミナー申し込み」としていただきますようお願い致します。

必要事項

氏 名：

出身大学：

何 年 卒：

住所(含郵便番号)：

電話番号：

メールアドレス：